

◇ 事業 報 告

事業団総括事項

令和3年度においても、前年度から続く新型コロナウイルス感染症の感染拡大が繰り返し発生し、事業団が管理運営する全ての施設・事業において、様々な制約を受けながらの運営となりました。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の波が3回あり、いわき市健康・福祉プラザケアハウスをはじめ、老人福祉センター、児童館やこども元気センター、いわきサン・アビリティーズは、1回目は4月29日から5月31日まで、2回目は8月5日（一部は7日）から9月30日まで、3回目は1月24日から3月31日までと三度にわたり臨時休業しました。いわき市健康・福祉プラザ宿泊研修施設についても4月29日からと8月7日からの二度同じように臨時休業しました。営業再開後も人数制限や時間制限、感染リスクの高い活動に対する利用自粛の要請、新規予約の受付停止など新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて利用制限を行いながらの運営となり、多くの施設・事業において、利用者数は前年度を下回る結果となりました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が繰り返されたことから、各施設・事業において、例年実施していた活動などが休止せざるを得ない状況も生じ、1年間を通して各施設や事業運営に影響があった年度となりました。

結果として、公益目的事業では令和2年度の公益目的事業における収入超過15,162千円（黒字）を令和3年度に執行するべく当初の支出予算に15,850千円の増額補正を行つて事業を実施したため、その収支は12,225千円の赤字となったものの、これまでの公益目的事業における収入超過が4,508千円あるため、令和4年度も公益目的事業を実施する中で、その執行をしていくことが必要となりました。

一方で、収益事業であるいわき市健康・福祉プラザの通所介護事業と居宅介護支援事業及び障害者生活介護事業においては、思うような利用者増が図れず、合計で前年比319千円の収入減少につながり、6,394千円の赤字決算となりました。

1 公益目的事業（社会福祉事業）

1. 総括事項

公益財団法人の核となる公益目的事業として、次の社会福祉事業を実施しました。

○公の施設の指定管理業務

- ・老人福祉センター及び老人憩いの家
- ・児童館・児童センター及びこども元気センター
- ・へき地保育所
- ・いわきサン・アビリティーズ
- ・いわき市健康・福祉プラザ温泉利用型健康増進施設及び宿泊研修施設

○いわき市からの委託事業

- ・地域子育て支援拠点事業
- ・パラスポーツ体験教室開催事業
- ・ファミリー・サポート・センター事業
- ・健康づくりサポートセンター事業

○その他の公益事業

- ・障害者相談支援事業（計画相談支援）
- ・温泉療法事業
- ・いきいき健康教室事業

これら施設の管理運営業務並びに各種事業の業務について、不特定多数の者の利益の増進に寄与することを求められる公益目的事業として、広く市民福祉の向上に寄与するべく、新型コロナウイルス感染症の感染予防・対策に留意しながら運営、実施に努めました。

(1) 施設貸与事業（表1－1参照）

①老人福祉センター及び老人憩いの家

【利用制限等】

- ・臨時休業：①令和3年4月29日から5月31日まで②令和3年8月7日から9月30日まで③令和4年1月24日から3月31日まで（計155日）
[令和2年度は61日]

- ・営業時も感染状況に応じて、感染リスクの高い活動等については自粛を要請（カラオケ、息のあがる運動、囲碁・将棋など）

新型コロナウイルス感染症の感染リスクや重症化リスクが高い高齢者を対象とする施設であるため、健康増進やレクリエーションの場であるものの、断続的な臨時休業や利用制限等を行ながらの管理運営となりました。

前年度よりも臨時休業日数が増えたことや高リスク活動の自粛要請が影響し、五施設合わせての利用者数は前年比377件(25.0%)減の1,134件でした。

②児童施設[こども元気センター、小名浜児童センター、内郷児童館]

地域子育て支援拠点事業（表1－2参照）

【利用制限等】

- ・臨時休業：①令和3年4月29日から5月31日まで②令和3年8月5日から9月30日まで③令和4年1月24日から3月31日まで（計157日）
[令和2年度は40日]

- ・営業時も感染状況に応じて、小学生に保護者同伴による利用の徹底、中高生の利用自粛、利用時間・利用人数の制限、こども元気センターの20時以降の利用及び屋内運動場の貸し出し自粛などを実施

子どもの遊び場、子育て支援の拠点である児童館・児童センター及びこども元気センターについては、断続的な臨時休業や利用制限等を行いながらの運営となりました。

前年度より臨時休業日数が大幅に増えたため、三施設ともに小学生、未就学児親子いずれの利用者数も減少しました。その利用状況は、こども元気センターが前年度比 11,515 人(25.6%)減の 33,390 人、小名浜児童センターが前年比 4,730 人(48.7%)減の 4,988 人、内郷児童館が前年比 5,789 人(39.9%)減の 8,722 人となり、児童施設全体では、前年比 22,034 人(31.9%)減の 47,100 人でした。

なお、児童施設を会場に実施している地域子育て支援拠点事業については、施設の臨時休業中においても、子育てに関する相談業務は継続しましたが、施設休業の影響は免れず、三施設合わせた利用者組数は前年比 1,959 組(34.3%)減の 3,759 組となりました。

③へき地保育所

三和町永井地区と川前町桶壳地区にいわき市で設置している二つのへき地保育所の指定管理者として施設近郊で暮らす幼児の保育業務を実施し、保育所運営の一環である運動会や発表会などの行事も新型コロナウイルス感染症の感染予防・対策を行いながら実施しました。利用状況については、在籍児童が永井 5 名(前年 4 名) 桶壳 3 名(前年 3 名) と昨年より 1 名増えたことに加え、臨時休業も無かった(令和 2 年度は 31 日臨時休業)ことから二施設合わせた延べ利用人数は前年比 370 人(22.1%)増の 2,043 人でした。

④いわきサン・アビリティーズ[障がい者教養文化体育施設]

主催事業及びパラスポーツ体験教室開催事業（表 1-3 参照）

【利用制限等】

・臨時休業：①令和 3 年 4 月 29 日から 5 月 31 日まで②令和 3 年 8 月 5 日から 9 月 30 日まで③令和 4 年 1 月 24 日から 3 月 31 日まで（計 157 日）
[令和 2 年度は 61 日]

・営業時も感染状況に応じて、感染リスクの高い活動等については自粛を要請
(カラオケ・合唱、ダンス・バスケット等息のあがる運動、囲碁・将棋など)
また、夜間の利用については新規予約の受付停止

主として障がい者のスポーツや趣味・教養の場として体育館や研修室等を提供する施設であり、消毒や換気等の感染対策を徹底しながら運営しましたが、断続的な臨時休業日数が前年度よりも増えたことや営業時の利用制限の影響と、車いすバスケット大会など例年主催している障がい者スポーツ競技会の内 7 つを中止したこともあり、利用者数は障がい者が 3,767 人、一般利用者が 10,691 人で、全体では前年比 2,421 人(14.3%)減の 14,458 人の利用状況でした。

一方、いわき市から受託し、いわきサン・アビリティーズを会場に実施したパラスポーツ体験教室開催事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により実施回数は 13 回(前年度は 17 回)に減ったものの、東京パラリンピックの開催やいわき市が行った広報の効果もあり、前年比 73 人(53.7%)増の 209 人でした。

⑤いわき市健康・福祉プラザ

ア 温泉利用型健康増進施設[クアハウス]（表1-4参照）。

【利用制限等】

・臨時休業：①令和3年4月29日から5月31日まで②令和3年8月7日から9月

30日まで③令和4年1月24日から3月31日まで（計155日）

[令和2年度は70日]

・営業時も定員1/2に入場制限、トレーニングルーム利用時間制限（完全入替制）

温水プールやトレーニングルーム、各種温浴施設の利用を提供することにより生活習慣病の予防など利用者が日々健康増進を図れる施設として、消毒・換気等の感染症対策を行いながら管理運営を行いましたが、断続的に行った臨時休業日数が前年度より増えたことや、4月からの年間利用券料金廃止に伴う年間会員減少の影響により、利用者数は54,791人(28.9%)減の134,939人となりました。ちなみに年間会員の延べ利用者数は前年比59,298人減の121,679人となったのに対し、回数券の延べ利用者数は前年比6,752人増の8,300人で、一定の年間会員が回数券利用に振り替わったものと推察されます。

イ 宿泊施設（表1-5～7参照）

【利用制限等】

・臨時休業：①令和3年4月29日から5月31日まで②令和3年8月7日から9月

30日まで（計88日）[令和2年度は51日]

低廉な料金で気軽に温泉保養が楽しめる宿泊施設については、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを懸念する社会情勢により、年度当初は予約が少なく低調に推移しましたが、10月から始まった福島県の宿泊業支援事業である福島県民を対象にした「県民割プラス」が始まり、当館でも集客を見込んで前年度に引き続き参加しました。

「県民割プラス」の実施期間は実質4カ月間ほどでしたが、このプランによる利用者は延べ637人（前年度は、県民割230人、Gotoトラベル150人）となりました。また、クアハウスと異なり1月24日からの3度目の臨時休業は行わず、臨時休業日数も前年度より37日の増加にとどまったため、宿泊全体の利用者数は、前年比387人(22.8%)増の2,083人と増加する結果となりました。

ウ 浴室付大広間

【利用制限等】

・臨時休業：①令和3年4月29日から5月31日まで②令和3年8月7日から9月

30日まで（計88日）[令和2年度は51日]

・営業時も入場制限（男女共1度に5名まで）、大広間休憩は休業を継続

低廉な料金で手軽に温泉を楽しめる入浴施設である浴室付き大広間についても、断続的な臨時休館と利用制限を行いながらの運営となりましたが、クアハウスが1月24日から3度目の臨時休業する中、営業を継続したことで、クアハウス利用者の一部が利用したことが影響し、利用者数は、前年比3,876人(40.0%)増の13,571人でした。

エ 研修施設

【利用制限等】

- ・臨時休業：①令和3年4月29日から5月31日まで②令和3年8月7日から9月30日まで（計88日）[令和2年度は51日]
- ・営業時も利用人数を定員の1/2に制限、新規予約の受付停止

各種団体などに会議や研修の場として貸し出しを行っている研修施設についても断続的な臨時休業と利用制限等を行いながらの運営となりました。臨時休業日数は前年度より37日増えたものの、延利用時間は前年比124時間(11.5%)増の1,206時間となりました。なお、これとは別に、令和3年9月12日から毎週日曜日の午前中、研修室を新型コロナウイルスワクチン接種会場として提供しました。その延利用時間は3月末までに研修室(大)・(小)合わせて184時間になりました。

(2) いわき市からの受託事業

① ファミリー・サポート・センター事業（表1-8参照）

共働き世帯などの子育てを支援するファミリー・サポート・センター事業については、育児支援を希望する方を依頼会員とし、育児を援助できる協力会員を募集して子育て支援活動を斡旋する事業として実施しました。令和3年度も新型コロナウイルス感染症による事業中断などはありませんでしたが、ステップアップ研修会や会員の親睦を深める交流会については、感染リスクの懸念から実施を見送りました。

結果として研修会の開催回数は減らすこととなりましたが、参加者自体は11人増え、協力会員は2人増えました。一方で、依頼会員・両方会員は合わせて前年比30人減少し、会員総数は28人(3.7%)減の727人にとどまりました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が繰り返される中、学校や児童施設でのクラスター発生による利用取消や、密状態や濃厚接触になることに懸念を抱く利用控えも相変わらず見受けられ、支援活動件数は前年比311件(18.2%)減の1,708件となりました。

② 健康づくりサポートセンター事業（表1-9参照）

【利用制限等】

- ・臨時休業：①令和3年4月29日から5月31日まで②令和3年8月7日から9月30日まで③令和4年1月24日から3月31日まで（計155日）
[令和2年度は臨時休業無し]

事業開始2年目を迎えた健康づくりサポートセンター事業は、6月までは前年度からの参加者を対象に引き続き実施し、7月から新たに募集した50人の参加者を対象に実施しました。前年度同様、健康づくり初心者の生活習慣病の予防や改善に資することを目的に、利用者が自主的にトレーニングする時間と体育指導員による運動教室、管理栄養士による栄養指導、相談などの内容でカリキュラムを構成しました。

12月開始だった前年度と異なり4月から実施しましたが、ケアハウスの臨時休業に合わせて断続的に事業を中断することになったため、延利用人数は前年比850人

(47.1%)増の2,656人でした。

(3) その他の公益事業

① 障害者相談支援事業[計画相談支援]（表1－10 参照）

障害福祉サービスの利用を希望する障がい者に対し、本人の希望や生活上の課題を聞き取り、サービス利用計画を作成する計画相談支援業務を、いわき市障害者生活介護センターを拠点に実施しました。新型コロナウイルス感染症感染拡大等による事業の中止等が生じることなく実施することができました。作成したサービス利用計画が利用者本人の希望や身体状況等をより反映した内容になるようモニタリング等見直す機会を増やした結果、支援件数は前年比27件(6.6%)増の439件となりました。

② 温泉療法事業

温泉利用型健康増進施設の認定を受けているいわき市健康・福祉プラザにおいて、実施できる温泉療法事業については、成人女性1名から事業内容等についての問い合わせ、申し込みがあり、温泉療法医の診断を経て出された温泉療法指示書に基づき、6～7月の2カ月にわたって計11回の温泉療法を実施しました。前年度に続いて利用者数1人の実績でした。

③ いきいき健康教室事業

健康・福祉プラザを会場に、市民の健康増進に寄与するために「水中運動コース」など5コースを設定し、当館体育指導員により令和元年度まで毎年実施していましたが、令和3年度においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるいわき市健康・福祉プラザの断続的な臨時休業により、計画的に参加者募集、受付、教室開催を行うことが難しいと判断したことから、前年度に引き続き休止しました。

1-1 施設貸与事業(各施設の利用状況)

	施 設 名	令和3年度①	令和2年度②	比較 ①-②	令和元年度
老人施設	平老人福祉センター	242 件	316 件	△ 74 件	779 件
	小名浜老人憩いの家	254	333	△ 79	690
	勿来老人福祉センター	156	176	△ 20	509
	内郷老人福祉センター	273	395	△ 122	643
	四倉老人福祉センター	209	291	△ 82	711
	件 数 計	1,134	1,511	△ 377	3,332
児童厚生施設	こども元気センター	33,390 人	44,905 人	△ 11,515 人	98,128 人
	(※内 小 学 生)	(4,427)	(4,691)	△ 264	(19,217)
	(※内未就学児童)	(13,715)	(19,863)	△ 6,148	(36,755)
	(※内大人)	(15,144)	(20,162)	△ 5,018	(42,009)
	(※地域活動推進事業)	(104)	(189)	△ 85	(147)
	小名浜児童センター	4,988 人	9,718 人	△ 4,730 人	19,778 人
	(※内 小 学 生)	(17)	(62)	△ 45	(5,594)
	(※内未就学児童)	(2,380)	(4,968)	△ 2,588	(6,845)
	(※内大人)	(2,079)	(3,822)	△ 1,743	(5,576)
	(※内プール利用者)	(259)	(596)	△ 337	(1,056)
保育所	(※地域活動推進事業)	(253)	(270)	△ 17	(707)
	内郷児童館	8,722 人	14,511 人	△ 5,789 人	30,744 人
	(※内 小 学 生)	(782)	(3,177)	△ 2,395	(12,554)
	(※内未就学児童)	(4,065)	(5,368)	△ 1,303	(7,802)
	(※内大人)	(3,174)	(4,532)	△ 1,358	(6,463)
	(※内プール利用者)	(182)	(945)	△ 763	(2,682)
	(※地域活動推進事業)	(519)	(489)	30	(1,243)
	人 数 計	47,100 人	69,134 人	△ 22,034 人	148,650 人
	(※内 小 学 生)	(5,226)	(7,930)	△ 2,704	(37,365)
	(※内未就学児童)	(20,160)	(30,199)	△ 10,039	(51,402)
	(※内大人)	(20,397)	(28,516)	△ 8,119	(54,048)
	(※内プール利用者)	(441)	(1,541)	△ 1,100	(3,738)
	(※地域活動推進事業)	(876)	(948)	△ 72	(2,097)
いわきサン・アビリティーズ	永井保育所	1,139 人	872 人	267 人	907 人
	桶壳保育所	904	801	103	1,258
	人 数 計	2,043	1,673	370	2,165
いわきサン・アビリティーズ		14,458 人	16,879 人	△ 2,421 人	39,531 人

	施設名	令和3年度①	令和2年度②	比較 ①-②	令和元年度
健康・福祉 プラザ	健康増進施設 (※年間利用券利用)	134,939人 (121,679)	189,730人 (180,977)	△ 54,791人 △ 59,298	297,441人 (271,592)
	宿泊施設	2,083	1,696	387	5,006
	浴室付大広間	13,571人	9,695人	3,876人	17,921人
	研修施設	1,390時間	1,082時間	308時間	1,958時間

※研修施設の令和3年度実績には、ワクチン接種会場としての提供時間を含む

1-2 地域子育て支援拠点事業の実施状況

	令和3年度①	令和2年度②	比較 ①-②	令和元年度
元気	利用親子	919組	1,099組	△ 180組 1,851組
	相談件数	985件	1,210件	△ 225件 2,134件
小名浜	利用親子	1,019組	1,914組	△ 895組 2,988組
	相談件数	357件	469件	△ 112件 1,223件
内郷	利用親子	1,821組	2,705組	△ 884組 2,980組
	相談件数	1,039件	1,350件	△ 311件 1,381件
合計	利用親子	3,759組	5,718組	△ 1,959組 7,819組
	相談件数	2,381件	3,029件	△ 648件 4,738件

1-3 いわきサン・アビリティーズ主催事業実施状況

大会・事業名	参加人数	大会・事業名	参加人数
リアル野球盤交流会	9	ブラインドテニス大会	中止
卓球大会	15	スポーツレクリエーション交流会	19
車いすテニス大会	3	教養講座作品展示会	10
ボッチャ交流会	6	風船バレー交流会	9
スルーネットピンポン大会	20	オセロ大会	中止
スポーツレクリエーション交流会	11	バスケット大会	中止
車いすバスケット大会	中止	アーチェリー競技会	中止
卓球バレー交流会	11	ショートテニス大会	中止
スポーツレクリエーション交流会	13	ローリングバレー交流会	中止
フライングディスク大会	11		

※「中止」は新型コロナウィルス感染拡大防止のため

パラスポーツ体験教室開催事業

(単位 人)

	令和3年度①	令和2年度②	比較 ①-②	令和元年度
障がい者	71	31	40	82
その他（健常者）	138	105	33	164
合計	209	136	73	246

1-4 健康増進施設の利用状況

(単位 人)

区分		利用人数			構成比	令和2年度 ②	比較 ① - ②	令和 元年度
		男性	女性	合計①				
ビ ジ タ ー	高齢者・障がい者	518	417	935	0.7%	1,072	△ 137	4,621
	一般利用(大人)	1,770	961	2,731	2.0%	733	1,998	2,409
	〃 (小人)	130	114	244	0.2%	195	49	788
	〃 (夜間)	0	0	0	0.0%	885	△ 885	3,219
小計		2,418	1,492	3,910	2.9%	2,885	1,025	11,037
年間利用券利用		66,388	55,291	121,679	90.2%	180,977	△ 59,298	271,592
宿 泊 者	高齢者等	37	52	89	0.1%	65	24	215
	一般利用(大人)	26	33	59	0.0%	46	13	119
	〃 (小人)	1	8	9	0.0%	12	△ 3	51
	小計	64	93	157	0.1%	123	34	385
回 数 券	高齢者等	2,012	1,767	3,779	2.8%	1,123	2,656	2,802
	一般利用(大人)	2,382	1,893	4,275	3.2%	404	3,871	1,248
	〃 (小人)	114	132	246	0.2%	21	225	92
	小計	4,508	3,792	8,300	6.2%	1,548	6,752	4,142
入場券利用		336	262	598	0.4%	3,288	△ 2,690	8,633
その他利用		140	155	295	0.2%	909	△ 614	1,652
合計		73,854	61,085	134,939	100.0%	189,730	△ 54,791	297,441

1-5 宿泊施設の利用状況

(単位 人)

区分		利用人数			構成比	令和2年度 ②	比較 ①-②	令和元年度
		男性	女性	合計①				
宿 泊 施 設	高齢者・障がい者	649	861	1,510	72.5%	1,163	347	3,351
	障がい者(小人)	7	3	10	0.5%	0	10	26
	一般利用(大人)	308	218	526	25.3%	505	21	1,396
	〃 (小人)	18	19	37	1.8%	28	9	233
合計		982	1,101	2,083	100.0%	1,696	387	5,006

1-6 宿泊施設の稼働状況

(単位 %)

	令和3年度①	令和2年度②	比較① - ②	令和元年度
部屋稼働率	18.8	15.7	3.1	43.3
定員稼働率	11.9	9.7	2.2	28.5

1-7 宿泊者の地域別利用

(単位 人)

区分		令和3年度 ①	構成比	令和2年度 ②	比較 ①-②	令和元年度
地域別	いわき市内	879	42.2%	711	168	2,320
	福島県(いわき市を除く)	617	29.6%	343	274	574
	関東	508	24.4%	572	△ 64	1,740
	北海道・東北(福島を除く)	48	2.3%	57	△ 9	209
	上記以外	31	1.5%	13	18	163
	合 計	2,083	100.0%	1,696	387	5,006

1-8 ファミリー・サポート・センター事業の実施状況

(単位 人、件)

	令和3年度①	令和2年度②	比較 ①-②	令和元年度
依頼会員数	383	410	△ 27	432
協力会員数	304	302	2	286
両方会員数	40	43	△ 3	47
計	727	755	△ 28	765
支援活動件数	1,397	1,708	△ 311	1,814
基本研修会	6回 74人	7回 63人	△1回 11人	8回 88人
ステップアップ研修会	0回 0人	2回 48人	△2回 △48人	2回 64人

1-9 健康づくりサポートセンター事業

※事業開始は令和2年度12月から

(単位 人)

	令和3年度①	令和2年度②	比較 ①-②	令和2年度実施月 12月～3月 令和3年度実施月 4月、6月、7月、 10月～1月
セルフトレーニング	1,632	980	652	
運動教室	567	674	△ 107	
45分間トレーニング	365	77	288	
トレーニング計	2,564	1,731	833	
測定会・栄養相談等	92	75	17	
合 計	2,656	1,806	850	

1-10 障害者相談支援事業(計画相談支援)

(単位 件)

	令和3年度①	令和2年度②	比較 ①-②	令和元年度
計画相談	262	251	11	265
モニタリング加算	177	161	16	108
合 計	439	412	27	373

2 収益事業（介護事業）

1. 総括事項

令和3年度も新型コロナウイルス感染症感染拡大が生じる中、事業団の収益事業として、いわき市健康・福祉プラザでの通所介護事業と居宅介護支援事業を、いわき市障害者生活介護センターでの障害者生活介護事業を感染対策の徹底しながら事業の中止等を招くことなく一年を通して実施しました。いずれの事業においても、在宅で暮らす要介護者の自立的な生活を支援するもので、市民福祉の向上に寄与するという事業団の目的を果たすとともに、介護事業の収益は事業団の安定的な運営のために財務面で重要な役割を求められることから、収益確保のため効率的な事業運営に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が繰り返し発生する社会情勢の中、思うように利用者数増を図ることができませんでした。

結果として、これら収益事業（介護事業）の収入は、三事業合せて前年比319千円減の103,872千円でした。一方、支出は、前年比1,662千円増の110,266千円となり、その收支は6,394千円の赤字で、前年度に続き公益目的事業を支えるべき収益事業がその役割を果たせていない結果となりました。

(1) 通所介護事業（表2-1～2参照）

健康・福祉プラザ指定通所介護事業所において在宅の要介護・要支援高齢者を対象にデイサービス事業を実施しました。令和3年度は、利用者増を図るべく18名の新規登録者を獲得し、加えて21名の利用回数を増やすことができましたが、死亡や入所などで25名の登録取消もあり大幅な利用者数増には至りませんでした。また、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、利用者本人だけでなく、その家族の体調等にも留意し、利用自粛をお願いするケースもしばしば生じるなど、マイナス要因も作用し、介護予防を合わせた延利用率は前年比296人(5.8%)増の5,383人となりました。

この結果、収入は前年比1,399千円増の45,486千円で、支出は前年比926千円減の46,781千円であったため、收支は1,295千円の赤字となりました。

(2) 居宅介護支援事業（表2-3参照）

健康・福祉プラザ指定居宅介護支援事業所では、高齢の要介護者等に対し、心身の状況等に応じた適切な介護サービスを利用できるよう専任の介護支援専門員によるケアプラン作成業務を実施しました。通所介護事業所の利用者増にもつながるように努め、8名の新規登録を得ました。結果として、令和3年度のケアプラン作成件数は前年比40件(15.6%)増の297件となりましたが、収入は前年比264千円増の2,969千円にとどまり、支出は前年比137千円増の7,195千円であったため、收支は4,226千円の赤字となりました。

(3) 障害者生活介護センター（表2-4～5参照）

障害者生活介護センターでは、在宅の障がい者を対象に地域での生活支援につながるよう通所による生活介護事業を実施しました。令和3年度においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、感染を懸念する利用控えが度々見受けられる一方、外出を要する障害福祉サービスを新たに利用しようという障がい者のニーズも比較的弱いと見え、新規の利用者は3名にとどまりました。利用回数増などで延利用者数増を図るも、介護保険への移行等による契約解除も7人を数え、延利用者数を伸ばすことができず、前年比252人(4.0%)減の6,036人でした。

その結果、収入は前年比1,981千円減の55,417千円となり、支出は前年比2,452千円増の56,290千円であったため、収支は873千円の赤字となりました。

2-1 通所介護事業利用状況

	令和3年度①	令和2年度②	比較①-②	令和元年度
(1)年度末利用登録者数 (人)	46	55	△ 9	56
(2)年度開所日数 (日)	308	299	9	307
(3)年間利用予定者数 (人)	6,003	5,751	252	5,626
(4)年間延利用者数 (人)	4,743	4,544	199	5,290
(5)年間利用率 (%)	79.0%	79.0%	0.0	94.0%
(6)1日当たり平均利用者数 (人)	15.4	15.2	0.2	17.3

2-2 第1号通所事業利用状況

	令和3年度①	令和2年度②	比較①-②	令和元年度
(1)年度末利用登録者数 (人)	7	11	△ 4	8
(2)年度開所日数 (日)	308	299	9	307
(3)年間利用予定者数 (人)	766	635	131	694
(4)年間延利用者数 (人)	640	543	97	656
(5)年間利用率 (%)	83.6%	85.5%	△ 1.9	94.5%
(6)1日当たり平均利用者数 (人)	2.1	1.8	0.3	2.2

2-3 居宅介護支援事業:ケアプラン作成件数

(単位 件)

区分	令和3年度①	構成比	令和2年度②	比較①-②	令和元年度
要支援1	0	0.00%	0	0	0
要支援2	27	9.09%	25	2	25
要介護1	51	17.17%	34	17	21
要介護2	100	33.67%	105	△ 5	99
要介護3	112	37.71%	69	43	51
要介護4	0	0.00%	10	△ 10	7
要介護5	7	2.36%	14	△ 7	12
合計	297	100.0%	257	40	215

2-4 障害者生活介護センター利用状況

(単位 人)

障害支援区分	令和3年度①	構成比	令和2年度②	比較①-②	令和元年度
区分2	489	8.10%	625	△ 136	899
区分3	1,874	31.05%	1,811	63	1,708
区分4	951	15.76%	956	△ 5	1,001
区分5	888	14.71%	940	△ 52	1,245
区分6	1,834	30.38%	1,956	△ 122	2,160
合計	6,036	100.0%	6,288	△ 252	7,013

2-5 障害者生活介護センター 登録者動態

(単位 人)

新規契約	契約解除	利用回数		区分変更	
		増	減	重	軽
3	7	3	1	1	0

3 評議員会・理事会報告事項

日時	出席	議案番号	件名
第 120 回 理事会 3. 4. 1 開催	理事 6 名 監事 2 名	第 1 号 第 2 号	理事長（代表理事）の選定について 副理事長（業務執行理事）の選定について 議案第 1 号から議案第 2 号まで、いずれも議決
第 18 回 評議員会 3. 6. 28 開催	評議員 5 名 理事 3 名 監事 2 名	報告 第 1 号 第 1 号 第 2 号 第 3 号 第 4 号	令和 2 年度事業報告について 令和 2 年度決算について 任期満了に伴う評議員の選任について 任期満了に伴う理事の選任について 任期満了に伴う監事の選任について 議案第 1 号から第 4 号まで、いずれも議決
第 121 回 理事会 3. 6. 28 開催	理事 6 名 監事 2 名	報告 第 1 号 第 1 号 第 2 号 第 3 号	理事長・副理事長・専務理事の職務執行状況の報告 理事長（代表理事）の選定について 副理事長（業務執行理事）の選定について 専務理理事（業務執行理事）の選定について 議案第 1 号から第 3 号まで、いずれも議決
第 122 回 理事会 4. 3. 23 開催	理事 7 名 監事 2 名	報告 第 1 号 報告 第 2 号 第 1 号 第 2 号 第 3 号 第 4 号 第 5 号 第 6 号	令和 3 年度施設等利用者数見込及び決算見込について 理事長・副理事長・専務理事の職務の執行状況について 令和 4 年度事業計画について 令和 4 年度収支予算について 令和 4 年度資金調達及び設備投資の見込について 公益財団法人いわき市社会福祉施設事業団処務規程の改正について 評議員会決議（定款変更）を書面で行うことについて 評議員会決議（評議員・理事選任）を書面で行うことについて 議案第 1 号から第 6 号まで、いずれも議決

※令和 3 年 5 月 28 日 決議の省略による理事会決議
「令和 2 年度事業報告及び決算その他に係る提案について」

※令和 2 年度監査については、令和 3 年 5 月 25 日に実施

※令和 4 年 1 月 21 日 決議の省略による理事会決議
「補欠監事選任のための評議員会決議事項について」

※令和 4 年 2 月 1 日 決議の省略による評議員会決議
「補欠監事の選任について」

※令和 4 年 2 月 24 日 決議の省略による理事会決議
「補欠理事選任のための評議員会決議事項について」

※令和 4 年 3 月 8 日 決議の省略による評議員会決議
「補欠理事の選任について」

※令和 4 年 3 月 14 日 決議の省略による理事会決議
「副理事長の選定について」

※令和 4 年 3 月 31 日 決議の省略による評議員会決議
「定款変更について」

※令和 4 年 3 月 31 日 決議の省略による評議員会決議
「補欠評議員及び補欠理事の選任について」

4 役員の異動事項

氏名	役職名	発生年月日	理由	備考
荒川 信治	理事長	3.4.1	就任	3.4.19 登記
小川 俊幸	副理事長	3.4.1	就任	3.4.19 登記
坂本 満恵	評議員	3.6.28	重任	3.7.16 登記
飯尾 仁	評議員	3.6.28	重任	3.7.16 登記
上遠野恭子	評議員	3.6.28	就任	3.7.16 登記
鎌田真理子	評議員	3.6.28	重任	3.7.16 登記
木島 勇道	評議員	3.6.28	重任	3.7.16 登記
中島 幸江	評議員	3.6.28	退任	3.7.16 登記
荒川 信治	理事長	3.6.28	重任	3.7.16 登記
小川 俊幸	副理事長	3.6.28	重任	3.7.16 登記
日西 成二	専務理事	3.6.28	重任	3.7.16 登記
強口 暉子	理事	3.6.28	重任	3.7.16 登記
篠原 清美	理事	3.6.28	重任	3.7.16 登記
古館 信義	理事	3.6.28	重任	3.7.16 登記
小木埜進一	理事	3.6.28	重任	3.7.16 登記
齋藤 和夫	監事	3.6.28	重任	3.7.16 登記
佐藤 綾子	監事	3.6.28	重任	3.7.16 登記
齋藤 和夫	監事	3.11.17	死亡	3.12.24 登記
木村 理	監事	4.2.1	就任	4.2.10 登記

小川 俊幸	副理事長	4. 2. 4	辞 任	4. 3. 29 登記
佐々木 篤	副理事長	4. 3. 14	就 任	4. 3. 29 登記
飯尾 仁	評議員	4. 3. 31	辞 任	4. 4. 13 登記
佐々木 篤	副理事長	4. 3. 31	辞 任	4. 4. 13 登記

5 職員数に関する事項

(単位 人)

施設等名	事務局長	館長	次長	副館長	施設長	主任	事務職員	児童厚生員	保育士	体育指導員	看護師	介護支援専門員	生活相談員	介護員	生活支援員	嘱託職員	臨時雇用	合計	
事務局	1	1				1	1											4	
平老人福祉センター					(1)											1	1	(1)	
小名浜老人憩いの家					(1)											1	1	(1)	
勿来老人福祉センター					(1)											1	1	(1)	
内郷老人福祉センター					(1)											1	1	(1)	
四倉老人福祉センター					(1)											1	1	(1)	
小名浜児童センター						1										2	2	5	
内郷児童館						1										1	3	5	
こども元気センター						1	1	1								2	11	16	
永井保育所					(1)				1							1		2 (1)	
桶壳保育所					(1)											2		2 (1)	
いわきサン・アビリティーズ						1		1								2		4	
ファミリー・サポート・センター					(1)											2		2 (1)	
健康・福祉プラザ	総務		(1)	1		1	2			3						6	6	19 0	
	通所介護 居宅介護支援				(1)	1					1	1	2	2			3	10	(1)
障害者生活介護センター					(1)	1				2	1			2	5		11	(1)	
計		1	(1)	1	1	4(10)	5	4	1	1	3	3	2	2	2	16	37	85 (10)	

()は兼務職員。臨時雇用にはパート雇用も含む。

令和4年3月31日現在